

「給水のためのテクニカルタイムアウト」について

暑い時期に行われる大会において、熱中症予防の観点から下記の要領で「給水のためのテクニカルタイムアウト(以下、給水タイム)」を導入する。

1. 給水タイムが適用される大会は次の通り。

【2】全国総合体育大会東京都予選会兼国民体育大会選手選考会

【3】全日本バレーボール高等学校選手権大会一次予選

2. 各セットにおいて、リードするチームの得点が13点に達したとき、30秒間の給水タイムが適用される。

第3セットにおいては、13点でコートチェンジをした後に給水タイムとなる。

3. 給水タイムは正規の中断(タイムアウト、選手交代)の要求やリベロの交替よりも優先される。

4. 給水タイムは給水及び汗拭きを目的としているので、給水タイム中は次の点に注意すること。

プレーヤー…ウォームアップエリアにおいて給水することが出来る。モップをかけるためにコートへ入ることは許可されるが、それ以外はウォームアップエリア付近にいることとする。

チームスタッフ…ベンチに着席すること。プレーヤーに対して戦術的な指示を出すことは出来ない。ただし、マネージャーが生徒の場合は給水などの補助のため、ウォームアップエリアに行くことは認められる。